

震度5弱以上を想定した地震発生時の対応マニュアル

吉川市立美南小学校

地震発生

①教職員の動き

- 児童の安全確保
第一動作の指示
『防災ずきん頭をかぶり、机の下にもぐりなさい。』

『机の脚をしっかりと両手で持ちなさい。』
- 不安を解消
『大丈夫。落ち着いて。先生の指示通りしましょう。』
- 出入口の確保
- 配慮を要する児童への言葉かけ
- 二次災害防止
(電気、ガス)
- 緊急放送をしっかりと聞かせる。
- 担当学年、近い教室へ急行し、指示を出す。
- 避難指示

①地震発生時、児童の動き

- 1 授業中
 - ① 頭を保護し、机の下への避難する。
 - ② 机の脚を両手でしっかりと押さえる。
 - ③ 出入口の確保
- 2 休み時間
 - ・ 校庭→倒れやすいものや建物から離れる。
 - ・ 教室→机の下へ避難する。
 - ・ 廊下等→壁や柱に身を寄せる。
3. 体育館で活動中
 - ① 頭部を保護する。
 - ② ガラス窓から離れ、中央で身を伏せる。
4. 家庭科室、理科室、図工室での実験、実習中
 - ① 火を消し、危険物から離れる。
機械用具の電源を切る。
 - ② 熱湯、薬品の転倒、ガス漏れを想定し速やかに避難する。
5. 登下校時
 - ① カバンや持ち物で頭部を保護する。
 - ② 建造物・ブロック塀・電柱等から離れる。
 - ④ できるだけ広い場所に一時避難する。
 - ⑤ 身を低くし、揺れが収まるまで待つ。
 - ⑥ 信号が消えてしまったら、周辺状況を十分注意して登下校する。

①職員室の動き

- すぐに緊急放送で、第一動作の指示を出す。
- あわてず、冷静に放送を聞くように指示する。
- テレビ、ラジオ、インターネット等で情報を収集する。
- 児童名簿、緊急持ち出し用具を携行する。
- 避難開始の判断と校庭への避難指示
「おかしもち」の徹底